工学研究科　建築学専攻修士課程（建築計画学部門)履修モデル　　2021年4月1日

	科目			研究指導	
	教養科目	専門科目			
		選択必修科目	選択科目	主指導教員	副指導教員
修士1年	＜教養(共通)＞ 知財戦略特論 知的財産特論 科学技術研究の倫理 イノベーション・チーム・ラボ キャリアデザイン考究 実践リーダーシップを学ぶ 科学技術社会特論 倫理学対話 Basic Discussion and Presentation 1 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 2 技術英語表現法概論 技術英語表現法演習 国際政治特論 コミュニケーション英語講座1 コミュニケーション英語講座2 英語プレゼンテーション講座 英語Writing講座 実践英語講座1 実践英語講座2 現代東アジア特論 生物科学特論 現代物理学特論 ウォーターサイエンス特論 物理学から見る理学の世界1 物理学から見る理学の世界2 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の最前線2 物理学から見る理学の未来1 物理学から見る理学の未来2 Materials Science and Technology Overview 1 Materials Science and Technology Overview 2 Materials Science and Technology Overview 3 Materials Science and Technology Overview 4 計算機設計特論 プロセッサアーキテクチャ特論 社会病理特論 表現文化特論 ＜教養(他分野)＞ 安全および信頼性工学特論 情報工学特別講義1 情報工学特別講義2 数値流体工学特論 経営戦略特論	実験、製図、文献研究1 実験、製図、文献研究2	建築意匠特論 建築計画特論 建築史特論a 建築史特論b 建築構法計画特論a 建築構法計画特論b 都市計画特論 建築デザイン特論 建築設計1 建築設計2 建築意匠インターンシップ研修1a 建築意匠インターンシップ研修1b 建築意匠インターンシップ研修2a 建築意匠インターンシップ研修2b 建築学特別講義a 建築学特別講義b 建築学特別講義c 建築数理学特論	・所属研究室の決定 ・主副指導教員の決定 研究主指導 学会発表	助 言
修士2年		実験、製図、文献研究3 実験、製図、文献研究4		学会発表 ・修士論文 及び梗概の作成 ・修士論文発表 ・本審査及び最終試験	

【修了要件】

修士課程においては、建築学専攻所定の期間在学し，建築学に携わる研究者，技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

⇩

【修了後の進路】

・設計事務所への就職
・建設会社への就職
・鉄道系、開発・不動産系企業への就職
・住宅・建材メーカーへの就職
・官公庁への就職
・大学院博士後期課程への進学

工学研究科　建築学専攻修士課程（建築環境学部門）履修モデル　　2021年4月1日

	科目			研究指導	
	教養科目	専門科目			
		選択必修科目	選択科目	主指導教員	副指導教員
修士1年	＜教養（共通）＞ 知財戦略特論 知的財産特論 科学技術研究の倫理 イノベーション・チーム・ラボ キャリアデザイン考究 実践リーダーシップを学ぶ 科学技術社会特論 倫理学対話 Basic Discussion and Presentation 1 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 2 技術英語表現法概論 技術英語表現法演習 国際政治特論 コミュニケーション英語講座1 コミュニケーション英語講座2 英語プレゼンテーション講座 英語Writing講座 実践英語講座1 実践英語講座2 現代東アジア特論 生物科学特論 現代物理学特論 ウォーターサイエンス特論 物理学から見る理学の世界1 物理学から見る理学の世界2 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の最前線2 物理学から見る理学の未来1 物理学から見る理学の未来2 Materials Science and Technology Overview 1 Materials Science and Technology Overview 2 Materials Science and Technology Overview 3 Materials Science and Technology Overview 4 計算機設計特論 プロセッサアーキテクチャ特論 社会病理特論 表現文化特論 ＜教養（他分野）＞ 安全および信頼性工学特論 情報工学特別講義1 情報工学特別講義2 数値流体工学特論 経営戦略特論	実験、製図、文献研究1 実験、製図、文献研究2	空調設備特論 建築設備基準概論 建築環境特論b 建築環境特論c 建築環境特論d 建築環境特論e 建築設備計算演習 建築設備インターンシップ研修1a 建築設備インターンシップ研修1b 建築設備インターンシップ研修2a 建築設備インターンシップ研修2b 建築学特別講義a 建築学特別講義b 建築学特別講義c 建築数理学特論	・所属研究室の決定 ・主副指導教員の決定 研究主指導	助 言
修士2年		実験、製図、文献研究3 実験、製図、文献研究4		学会発表 学会発表 学会発表 ・修士論文 及び梗概の作成 ・修士論文発表 ・本審査及び最終試験	

【修了要件】

修士課程においては、建築学専攻所定の期間在学し，建築学に携わる研究者，技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

⇩

【修了後の進路】

・建設会社・設備工事会社への就職
・設計事務所への就職
・官公庁への就職
・鉄道、不動産、企業営繕部門などへの就職
・大学院博士後期課程への進学

工学研究科　建築学専攻修士課程 （建築構造学部門）履修モデル

2021年4月1日

	科目			研究指導	
	教養科目	専門科目			
		選択必修科目	選択科目	主指導教員	副指導教員
修士1年	＜教養（共通）＞ 知財戦略特論 知的財産特論 科学技術研究の倫理 イノベーション・チーム・ラボ キャリアデザイン考究 実践リーダーシップを学ぶ 科学技術社会特論 倫理学対話 Basic Discussion and Presentation 1 Basic Discussion and Presentation 2 Discussion and Presentation 1 Discussion and Presentation 2 技術英語表現法概論 技術英語表現法演習 国際政治特論 コミュニケーション英語講座1 コミュニケーション英語講座2 英語プレゼンテーション講座 英語Writing講座 実践英語講座1 実践英語講座2 現代東アジア特論 生物科学特論 現代物理学特論 ウォーターサイエンス特論 物理学から見る理学の世界1 物理学から見る理学の世界2 物理学から見る理学の最前線1 物理学から見る理学の最前線2 物理学から見る理学の未来1 物理学から見る理学の未来2 Materials Science and Technology Overview 1 Materials Science and Technology Overview 2 Materials Science and Technology Overview 3 Materials Science and Technology Overview 4 計算機設計特論 プロセッサアーキテクチャ特論 社会病理特論 表現文化特論 ＜教養（他分野）＞ 安全および信頼性工学特論 情報工学特別講義1 情報工学特別講義2 数値流体工学特論 経営戦略特論	実験、製図、文献研究1 実験、製図、文献研究2	建築構造力学特論 建築振動特論 建築構造技術特論 建築材料特論b 建築構造設計及び演習 建築構造インターンシップ研修1a 建築構造インターンシップ研修1b 建築構造インターンシップ研修2a 建築構造インターンシップ研修2b 建築学特別講義a 建築学特別講義b 建築学特別講義c 建築数理学特論	・所属研究室の決定 ・主副指導教員の決定 研究主指導 ↓ 学会発表 ↓	助 言 ↓
修士2年		実験、製図、文献研究3 実験、製図、文献研究4		学会発表 ↓ 学会発表 ↓ ・修士論文 及び梗概の作成 ・修士論文発表 ・本審査及び最終試験	

【修了要件】

修士課程においては、建築学専攻所定の期間在学し，建築学に携わる研究者，技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、研究課題を自ら発見し、解決する能力を持った人材を育成するために編成された授業科目を履修して所定の単位を修得し、かつ修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

【修了後の進路】

・構造設計事務所への就職
・各種建設会社への就職
・各種大手企業の建築構造設計部門への就職
・官公庁への就職
・大学院博士後期課程への進学